

印西市企画提案型協働事業 事後評価シート(比較表)

1. 協働事業の概要

事業名称	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業		
事業の実施者	実施団体名	NPO法人 エコネットちば	
	所管部署	都市整備課	
事業の趣旨・内容	竹袋調整池と周辺地域の水辺環境を、年間通して維持管理して、訪れる人たちにいつもきれいで気持ちよく利用できる憩いの場を提供するとともに、地域住民のコミュニケーションの拠点をつくる。 ①定期的(8回/年)に草刈を実施して、雑草を繁茂させない。 ②季節の花を植え、年間通して花畑をつくる。 ③随時清掃して、清潔な環境を維持する。		
実施期間	平成26年4月2日～平成27年3月31日		

2. 事業の評価

	設問	エコネットちば				印西市			
		十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
(2次事業審査開始前)	Q1 申請者と関係各課との間で相談や協議を行いましたか。	1. 実施した 2. しなかった				1. 実施した 2. しなかった			
	Q1で実施したと回答した場合 相談や協議は何回行いましたか。	2 回				2 回			
	Q2 相談や協議を行うことにより、相手方の主張について理解を深められましたか。		○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを以下に記入してください。								
(2次審査後、3次審査開始前)	Q3 第2次審査終了後から第3次審査までに申請者と関係各課との間で何回協議を行いましたか。	1 回				1 回			
	Q4 事業の詳細を協議するにあたり「企画提案型協働事業実施要領」の事業の流れや提案にあたっての留意事項を参考としましたか。	1. した 2. しなかった				1. した 2. しなかった			
	Q5 パートナーシップの考え方や協働事業の取り組み方等を双方で確認できましたか。		○				○		
	Q6 お互いの立場、置かれている状況、特性を理解できましたか。		○				○		
	Q7 協議は対等・協力的に行えましたか。		○				○		
	Q8 共有すべき課題について確認できましたか。		○				○		
	Q9 互いの果たすべき役割の認識・目標の分担ができましたか。		○				○		
	Q10 最終的な協働事業効果・事業成果について確認できましたか。		○				○		
	不十分と回答した場合はその理由を、また協議時に留意した点や気になった点などを記入してください。								

		設問				エコネットちば				印西市			
協働事業実施中	Q11	打ち合わせ(協議)を何回行いましたか。				2回				2回			
	Q12	事業の中間報告や市担当職員が現地に赴くなど、パートナー双方が進捗状況を確認したり、自由な意見交換を行いましたか。				1. 行った 2. 行えなかった				1. 行った 2. 行えなかった			
		Q12で行ったと回答した場合 報告や現地確認は何回行いました				報告 2回 現地確認 2回				報告 2回 現地確認 2回			
	Q13	当初の課題についてより深く理解し、新たな課題を共有できましたか。				十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
							○				○		
	Q14	当初の事業内容や協議事項に変更が生じた際、柔軟に対応できましたか。				十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
							○				○		
Q15	打ち合わせ事項(合意事項)は記録に残しましたか。				1. 残した 2. 残さなかった				1. 残した 2. 残さなかった				
	不十分と回答した場合はその理由を、また事業実施に当たって留意した点や気になった点などをご記入ください。												
協働事業実施後	Q16	成果を広く市民と共有できるよう取り組みましたか。				十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
							○				○		
		成果を共有するに当たり、どのような方法で情報発信を行ったか具体的に記入してください。								・印西市HP、広報、提案団体HP等を活用し、成果の共有をした。			
	Q17	役割や責任分担は適切でしたか。				1. 適切 2. 適切でない				1. 適切 2. 適切でない			
		適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。											
	Q18	資金負担は適切でしたか。				1. 適切 2. 適切でない				1. 適切 2. 適切でない			
		適切でないと回答した場合はその理由を記入してください。											
	Q19	課題の克服やニーズに応えることはできましたか。				十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
		不十分と回答した場合はその理由を記入してください。											
	Q20	当初設定した成果目標は達成できましたか。				十分できた	できた	不十分	全くできなかった	十分できた	できた	不十分	全くできなかった
	不十分と回答した場合はその理由を記入してください。												
Q21	協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。				1. 思う 2. 思わない				1. 思う 2. 思わない				
	効果があったと思えない場合はその理由を記入してください。												

設問	エコネットちば	印西市
<p style="text-align: center;">自由意見欄</p> <p>協働事業を実施して感じたことやご意見などがありましたら記入をお願いします。</p>	<p>・企画提案型協働事業を実施している中で名付けた「ひょうたん島池」もすっかり定着してきました。「ハスはまだ、いつごろ咲くの?」「まつりはいつ?」「コスモス咲き始めた?」など、地域の人々の問合せも多く、口伝やインターネットの情報から来てくれているようです。皆さんの関心がだんだんと高まってきました。</p> <p>皆さんが花を見て楽しみ憩う癒しの場の創ることが私たちの目的です。これからも、楽しいひょうたん島池広場に皆さんがますます訪れてくれるよう工夫していきたいと思ひます。</p>	<p>・協働事業者の貢献により、季節ごとのイベントが定期的に行われ、定着しているため地域住民はもとより、多くの方々のコミュニケーション拠点の場として成長している。</p> <p>今後の懸念材料としては、協働事業者会員の高齢化がありますので、後継者の育成にも積極的に取り組んでいただきたい。</p>

市民活動推進課・総括
<p>当提案は、平成20年度(事業実施の初年度は平成21年度)の提案以来、6年目の企画実施となります。事業エリアは市所有の調整池で、協働事業により池周辺の花畑や池の中が整備され、かすみ草・コスモス・ビオラや池の中のハスなど、季節ごとに草花が楽しめるよう整備されています。また、地元小・中学校と連携して校外学習等に活用したり、地元町内会等と連携してまつりを開催するなど、地域の憩いの場になっています。提案者の管理は細部にわたっており、従来からの花畑の整備や清掃等に加え、桜の剪定や調整池内の水生植物の除去、井戸ポンプ小屋の修繕など、年々提案者側の作業項目は増えている状況です。</p> <p>提案者は、今後もイベント実施などにより市民参加の場所を提供するまちづくりに寄与していく考えです。維持管理についても継続していく意向で、市担当課としても提案者に管理を継続してほしいと考えております。</p> <p>提案者がさまざまな担い手と連携して市民活動を展開している現状から、本事業はまちの活性化や環境美化に貢献する協働事業として大きな成果を挙げているものと思われます。</p>